
《カートリッジウォーマー カプリ》

CAPRI

取扱説明書

Dentronics

株式会社 **デントロニクス**

13.01.P

はじめに

このたびはデントロニクスの麻酔用カートリッジウォーマーカプリをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書は、カプリの操作・取扱方法、メンテナンス等を説明するものです。

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。そして、正しい操作・取扱・メンテナンスによって、本機の機能を十分に発揮されるようお願いいたします。

(お読みになったこの取扱説明書は、本機の近くの判りやすい場所に大切に保管してください。)

カプリの特長

「麻酔液カートリッジを手の平で温めてから注射すると、注入中に患者さんがあまり痛がらない」ということは、広く知られてきました。カプリは、痛みが少ないといわれる温度「37℃」にカートリッジを温め、保温します。

カプリによって最適温度に温められた麻酔液は、注入時の患者さんの痛みを軽減します。

カプリは、麻酔液を手の平で温める時間を節約して治療効率を高めます。

カプリは、1.8mlのカートリッジにも1mlのカートリッジにも対応します。

目次

はじめに	2
使用上(安全及び危険防止)の注意事項	3
本機を安全にお使いいただくために	4
使用方法 使い方	5
設置時のご注意	6
使用上のご注意	6
温度の調節	6
メンテナンス	7
仕様	7

使用上（安全及び危険防止）の注意事項

1. 熟練した者以外は、機器を使用しないこと。

2. 機器を設置するときは、次の事項に注意すること。

- (1) 水のかからない場所に設置すること。
- (2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ホコリ、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより、悪影響の生じるおそれのない場所に設置すること。
- (3) 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など、安定状態に注意すること。
- (4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
- (5) 電源の周波数(Hz)と電圧(V)及び許容電流値(A)（又は消費電力）に注意すること。

3. 機器を使用する前には、次の事項に注意すること。

- (1) スイッチの接触状況などの点検を行ない、機器が正確に作動することを確認すること。
- (2) コードの接続が正確でかつ安全であることを確認すること。
- (3) 電源を確認すること。

4. 機器の使用中は、次の事項に注意すること。

- (1) 機器全般に異常のないことを絶えず監視すること。
- (2) 機器に異常が発見された場合には、安全な状態で機器の作動を止めるなど、適切な措置を講じること。

5. 機器の使用後は、次の事項に注意すること。

- (1) 電源スイッチを切ること。
- (2) コード類の取り外しに際しては、コードを持って引き抜くなど、無理な力をかけないこと。
- (3) 保管場所については、次の事項に注意すること。
 - 1) 水のかからない場所に保管すること。
 - 2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ホコリ、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
 - 3) 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など、安定状態に注意すること。
 - 4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
- (4) 機器は次回の使用に支障のないよう、必ず清浄にしておくこと。

6. 故障したときは、勝手にいじらず適切な表示を行ない、修理は専門家にまかせること。

7. 機器は改造しないこと。

8. 保守点検

- (1) 機器及び部品は、必ず定期点検を行なうこと。
- (2) しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認すること。

9. その他必要な事項。

- (1) 取扱いを誤ると危険が生じるので、取扱説明書を十分に精読の上、使用すること。

本機を安全にお使いいただくために

●本機を安全にお使いいただくために、特に次の危険防止事項について細心の注意をお払いいただき、機械の故障、火災、人身事故等が発生しないよう心がけてください。

1. 清掃は十分に冷えてから行なってください。
2. 感電や漏電の原因になりますので、流し台や加湿器のそばなど、水や湯気の当たる場所には置かないでください。
3. 使用後の安全を考え、使用中は風通しのよい場所に置いてください。
4. 金属部品の腐食を考え、高温多湿の場所には置かないでください。
5. 本取扱説明書には、安全や危険防止に関する具体的な内容が各所に具体的に記載されています。十分にお読みください。

●下記の項目に関しましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

1. 当社または当社指定の業者以外による取り付け・移設・改造・保守・修理等に基づく故障・損傷・人身事故
2. 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・損傷・およびこれらに基づく人身事故
3. この取扱説明書に記載されている注意事項や操作方法を無視された結果に基づく故障・損傷・人身事故
4. この取扱説明書に記載されている電源・設置環境等本機使用条件を逸脱した状況による故障・損傷・人身事故
5. 火災・地震・水害・落雷等天災による故障・損傷・人身事故

●本取扱説明書では、各内容に関連する危険防止事項および注意事項を、下記の記号により表示しています。

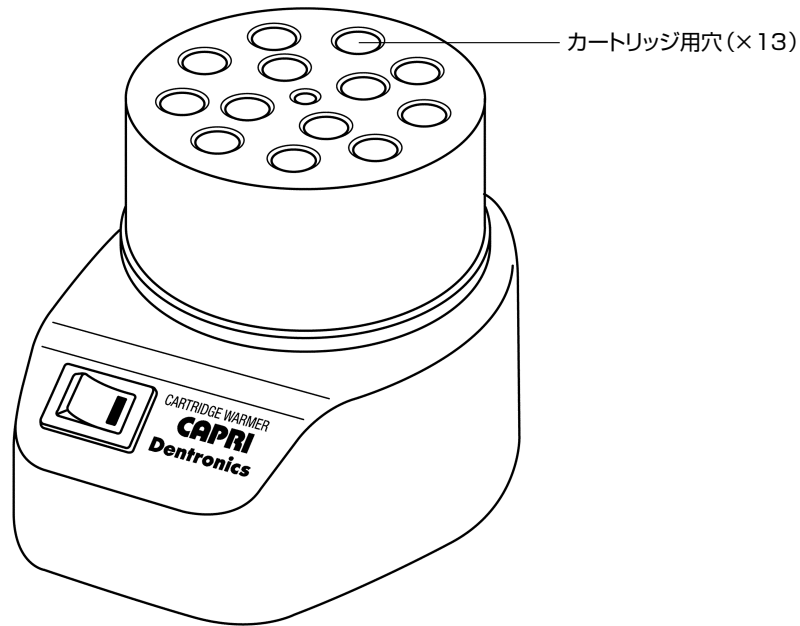


人身事故や機器の大きな損傷・故障につながる恐れのある危険事項を説明しています。



機器の損傷や故障、各種トラブルにつながる恐れのある注意事項を説明しています。

使用方法



使い方

① カートリッジを差し込みます。

▼その日に必要な数の麻酔液カートリッジを、上面の穴に差し込みます。

※一般に、カートリッジのアルミキャップ側を上にして差し込みます。

※電源を入れた後でカートリッジを差し込んでかまいません。

② 電源を入れます。

▼「電源スイッチ」の右部を押して電源ONにします。

※ランプが緑色点灯します。約5～6分で穴の中の温度は37℃に達し、これを維持します。

③ カバーをかぶせます。

※カバーは、光で麻酔液が劣化することを防ぐためのものです。

④ 全ての作業が終わったら、電源を切ります。

▼「電源スイッチ」の左部を押して電源OFFにします。

設置時のご注意



1. 安定のよい水平な場所に置いてください。
2. 感電や故障の原因になりますので、水のかかる場所は避けてください。。
3. 高温、多湿、ゴミ・ホコリ等の多い場所は避けてください。
4. 30℃以上の場所では使用しないでください。

使用上のご注意



1. 麻酔液カートリッジは、1日以内に使用する数だけ穴に差し込んでください。麻酔液を2日以上温めておくと、変質することがあります。
2. 正確な温度を維持するため、カートリッジ穴内にゴミ等がたまらないようにしてください。月に1～2回程度の清掃をおすすめします。
3. 底蓋の通風口がふさがれないよう、平らで固い場所に置いて使用してください。

温度の調節

保温温度は工場出荷時に調整してあります。それでもなお変更したい場合は、次の要領で調節できます。

1. 本体の底にある温度調節孔にドライバーを差し込み、ボリュームネジを右に回すと温度が上がります。
2. 同様に、左に回すと温度が下がります。

※0.5～1ミリ程度のわずかな回転で温度が変化します。

※調節後15分以上経過してから、温度計で温度を確認してください。

メンテナンス

① 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

※アルミ材に手で触れて熱く感じられる場合は、十分に冷えるまで待ちます。

② 穴内に麻酔液カートリッジや温度計がある場合は、外に出します。

③ 穴を下向きにして、割り箸や綿棒などで中のゴミをかき出します。

④ 軽く水を含ませた綿棒で、細かいゴミを拭き取ります。



1. 清掃時には、必ず電源スイッチを切り、電源プラグもコンセントから抜いてください。
2. 底蓋は外さないでください。
3. お客様の修理は危険です。修理は販売店にお申し付けください。
4. ベンジン、ラッカーシンナー等の溶剤は本体表面を侵します。絶対に使用しないでください。

仕様

電源： AC100V、50/60Hz

消費電力： 10W

保温温度： 37℃(サーミスタによる温度管理、温度ヒューズ付き)

収容本数： 麻酔液カートリッジ13本

外形寸法： W95 × D118 × H127mm

重量： 約550g

交換部品： カバー



お客様による修理は危険です。お買い上げの販売業者、当社指定の販売業者・修理業者、または 当社へご連絡ください。

仕様・外観等は予告なく変更することがあります。

発売元 株式会社 **デントロニクス**

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-30-15 TEL (03) 3209-7121 FAX (03) 3232-6764
www.dentronics.co.jp

製造元 **城田電気炉材株式会社**

〒165-0033 東京都中野区若宮2-55-3 TEL (03) 3330-6370 FAX (03) 3330-6332
www.shirota-denki.co.jp